

# 西高だより

2009年11月創刊 第177号



西仙北高校広報紙 Vol. 2  
2024年7月吉日発行

## 全県総体等結果

### サッカー部

1回戦 能代  
本校 5対2 能代松陽  
横手清陵 御所野  
2回戦  
本校 0対5 新屋  
横手清陵

横手清陵高校との連合チームで、

5月24日に行われた1回戦では、相手も連合チームということで、負けられない！という気持ちと、なんとか1勝したい！という気持ちが強くプレーに出ていたようです。2回戦は強豪チームで難しい試合でしたが、最後まで走り続けました。お疲れ様でした。



### バドミントン部

男子学校対抗 1回戦  
本校 2対3 平成  
男子ダブルス 1回戦  
齋藤・泉谷 0対2(秋田中央)  
佐々木・伊藤 0対2(横手)  
男子シングルス 1回戦  
泉谷 0対2 清水(秋田令和)

小松 2対1 高杉(能代松陽)  
同2回戦  
小松 2対0 原田(秋田令和)  
同3回戦  
小松 0対2 三浦(秋田工業)  
学校対抗とダブルスは初戦突破できませんでした。シングルスは3年生の小松君が3回戦まで進み大健闘。泉谷君は2年生なので、来年に向けてさらに頑張ってほしいです。

### 野球部

農水産交流戦  
本校(六校連合) 0対3 西目  
敗者交流戦  
本校(六校連合) 5対1 増田  
本校(六校連合) 1対10 金足農業B

男鹿海洋・男鹿工業の定期戦

本校(六校連合) 2対9 男鹿工業  
全国高等学校野球選手権秋田大会  
本校(六校連合) 3対4 秋田北鷹  
六校の大応援団が駆けつけ、その声援に応えるように、最後まで粘った試合を見せてくれました。

### ソフトテニス部

部員は3年生の田口さん一人なので、横手高校の1年生山口さんと組んで大会に出場しました



た。笑顔いっぱいプレーしていたのが印象的でした。  
田口・山口 4対2 (由利)  
田口・山口 0対4 (秋田令和)

## 相撲

相撲部屋へ入門したカス加藤君は5月末の報道であったとおり、元関脇嘉風・中村親方の中村部屋へ移籍しました。二所の関部屋から独立した新しい部屋です。



## 加藤

取り組み結果 0勝5敗

(7月23日現在)

番付 序二段六十一枚目

入門した時から、親身になって指導してもらっていたということで、親方と一緒に頑張ってもらいたいと思います。ネットニュースでも中村部屋の話がよく載っています。左のQRコードからアクセスできます。加藤君の動画なども配信されていますので、興味のある方は見てください。



## 夏休みの過ごし方

今年の夏も厳しい暑さになりそうです。長期休業中は生活習慣が乱れやすく、暑さにもなります。また、水難事故や交通事故にも注意が必要です。生活リズムを整え、充実した夏休みを過ごして、休み明けに元気に登校してください。始業式は8月21日です。



日時	曜日	内容
8/11	(日)	山の日
12	(月)	振替休日
13	(火)	15(木) 学校閉庁日
19	(月)	20(火) オープンデー
21	(水)	始業式・全校集会・整容指導
22	(木)	23(金) 体育祭 玄関・通学路・駅指導
27	(火)	9/3(火) 面接週間
29	(木)	西高カジュアルデー夏
9/10	(火)	スマホケータイ安全教室
16	(月)	敬老の日
22	(日)	秋分の日
23	(月)	振替休日
25	(水)	大綱米プロジェクト稲刈り





司会者の軽快なトーク?で始まった西高祭。心地よい音楽を聴いて、クイズをして、歌って踊って、金魚すくいや駄菓子・パンの販売、そして、綱引きと餅まきと、一足早い夏祭りがやって来たようでした。楽しかった!



# 西高祭 青春のSTORY



## 全校野球応援

7月12日

約300人の大応援団が、さきがけ八橋球場に集まりました。今まで交流したことがない吹奏楽部員も、応援団も試合が始まってしまえば一つにまとまって、音に合わせて名前を呼びメガホンを打ち鳴らしました。9回表の攻撃ではみんなが祈る気持ちでアンパイアのジャッジを見守りました。



## 避難訓練

6月25日

第1回目の避難訓練が行われましたが、あいにくの天気で、体育館への避難となりました。災害時は、高齢者や子供など避難が困難な人もたくさんいます。そんなときに、若い力が必要です。ぜひ、みんなが訓練を生かして、災害時に適切に行動できる人材になってほしいです。

## 地域探究発表会

7月16日

3年生が1年生から継続して学習してきた『地域探究』の発表会が、大綱交流館で行われました。当日は、市の関係者の方々や一般の方も来てくださり、生徒達は少し緊張しながら発表しました。学校祭では、この本番の予行練習といったところでしたがその反省点を改善し、より良い発表となりました。